



NAM 設定



(注)

Service Monitor でサポートする NAM のハードウェア構成とソフトウェアバージョンについては、『Cisco Prime Unified Service Monitor 8.7 Compatibility Matrix』を参照してください。

Service Monitor で NAM からデータを収集して分析するには、次のタスクを実行する必要があります。

- 「[http または https サーバのイネーブル化と Web 管理者ユーザの設定](#)」 (P.C-1)
- 「[NAM での RTP ストリーム モニタリングのイネーブル化](#)」 (P.C-2)
- 「[Service Monitor が使用する NTP サーバを使用するための NAM の設定](#)」 (P.C-3)

http または https サーバのイネーブル化と Web 管理者ユーザの設定

NAM にアクセスするには、NAM を http または http セキュア (https) サーバとして構成し、http または https ポートを設定する必要があります。NAM で初めて http または https サーバをイネーブルにすると、Web 管理者のユーザ名とパスワードの入力を要求されます。Web 管理者のユーザ名とパスワードを Service Monitor に入力する必要があります。

NAM を http サーバとして構成するには、NAM のコマンドラインから次のコマンドを入力します。

```
ip http server {enable | disable}
```

NAM を https サーバとして構成するには、NAM のコマンドラインから次のコマンドを入力します。

```
ip http secure server {enable | disable}
```

初めて NAM を http または https サーバとして構成すると、次の例に示すように、Web 管理者のユーザ名とパスワードの入力を要求されます。

```
ip http server enable
Enabling HTTP server...

No web users are configured.
Please enter a web administrator user name [admin]:
New password:
Confirm password:

User admin added.
```

```
Successfully enabled HTTP server.
```

ユーザ名とパスワードをメモして、それを Service Monitor に入力する必要があります。(「データ ソース クレデンシャルの追加」(P.3-8) を参照)。

http または https ポートを設定するには、次のうちいずれか適切なコマンドを使用します。

```
ip http port <port number>
```

```
ip http secure port <port number>
```

デフォルトの http ポートは 80 で、デフォルトのセキュア http ポートは 443 です。(『*Release Notes for Cisco Prime Unified Service Monitor*』に、NAM でのセキュア http の設定に関する重要な情報が記載されています)。



(注)

すべてのポートが割り当て可能であるとは限りません。ほとんどのブラウザは、その他のアプリケーションで使用されるポートをブロックします。詳細については、『*Network Analysis Module Command Reference Guide*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/network_analysis_module_software/4.0/command/reference/guide/cmdspart1.html) を参照してください。

Web 管理者のパスワードのリセット方法など、手順の詳細については、次の NAM ハードウェアのインストールおよびコンフィギュレーションに関するマニュアル、または資料を参照してください。

- 『*Cisco Branch Router Series (NME-NAM-120S) Installation and Configuration Note*』
- 『*Catalyst 6500 Series Switch and Cisco 7600 Series Router Network Analysis Module Installation and Configuration Note*』
- 『*Installation and Configuration Guide for the Cisco NAM 2204 Series Appliance*』
- 『*Installation and Configuration Guide for the Cisco NAM Series 1020 Appliance*』

NAM での RTP ストリーム モニタリングのイネーブル化

Service Monitor に追加した各 NAM で、RTP ストリーム モニタリングがイネーブルであることを確認してください。

- ステップ 1** Web インターフェイスを使用して NAM にログインします。
- ステップ 2** [Setup] > [Monitor] を選択します。[Core Monitoring Functions] テーブルが表示されます。
- ステップ 3** [RTP Stream Monitoring] をクリックします。[RTP Stream Setup] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** [Monitoring Enabled] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** [Apply] をクリックします。

詳細については、『*User Guide for the Cisco Network Analysis Module Traffic Analyzer*』を参照してください。

Service Monitor が使用する NTP サーバを使用するための NAM の設定

センサーと Unified Communications Manager からの情報を関連付けるには、タイミングが非常に重要です。したがって、次の手順が必要です。

- Unified Communications Manager が使用する NTP サーバを使用するように、Service Monitor が設定されている必要があります。
- Service Monitor が使用する NTP サーバと同じ NTP サーバを使用するように、各 NAM も構成することを推奨します。

-
- ステップ 1** Web インターフェイスを使用して NAM にログインします。
 - ステップ 2** [Admin] > [System] > [NAM System Time] を選択します。[NAM System Time Configuration] ダイアログボックスが表示されます。
 - ステップ 3** [NTP Server] オプション ボタンを選択します。
 - ステップ 4** [NTP server name] と [IP address] テキストボックスの最初のセットに、Service Monitor が使用する NTP サーバの DNS 名または IP アドレスを入力します。
 - ステップ 5** 地域とローカル タイム ゾーンをリストから選択します。
 - ステップ 6** [Apply] をクリックします。
-

詳細については、『*User Guide for the Cisco Network Analysis Module Traffic Analyzer*』を参照してください。

